

「きものの日」 和装で接客

繊維業ゆかりの丸紅



受付では着物姿の4
人が来客に対応した
＝東京都中央区日本
橋の丸紅本社

和装の振興を狙って業界
が定める「きものの日」の
15日、繊維業にゆかりのあ
る大手商社の丸紅が、着物
姿の受付係が来客をもてな
す演出をした。

丸紅の発祥は麻布あさぬのを扱う
近江商人で、同業の伊藤忠
商事と同じルーツ。今は丸
紅の子会社の京都丸紅が着

物事業を受け継ぐ。丸紅社
員の有志が2年前から集ま
って着物の振興策を考え、
京都丸紅とも協力して今回
の企画を行った。

受付カウンターは普段と
違う華やかな雰囲気。訪
れた男性客は「あ、着物
だ」と驚いた表情を見せ
た。「そついえばうちの発

祥は着物だった」と感慨深
げな丸紅の女性社員もい
た。

京都丸紅が都内に開いて
いる和服店はいま、訪日外
国人でにぎわっているとい
う。梅島義之社長(52)は
「特別なものになった着物
を、少しでも身近なものに
したい」と話していた。